

## 基準1 入院前に担当ケアマネジャーがいる場合

下記の判断ができれば、担当ケアマネジャーに退院支援の開始を連絡してください。

### 在宅への退院が可能と判断する基準（看護師等による判断）

- 1 病状がある程度安定した状態である場合
- 2 在宅での生活が可能そうである場合

※判断する前に医師から退院指示が出た場合は、すみやかにケアマネジャーに連絡してください。

## 基準2 入院前に担当ケアマネジャーがいない場合

（介護保険の認定を受けていない、またはケアマネジャーが決まっていない患者）

下記のいずれかにあてはまれば、患者の居住地の地域包括支援センターに介護保険申請等の相談に行くことを勧めてください。

### 退院支援が必要な患者の基準

- 1 立ち上がりや歩行に介助が必要
- 2 食事に介助が必要
- 3 排泄に介助が必要、あるいはポータブルトイレを使用中
- 4 日常生活に支障をきたすような症状がある認知症がある
- 5 在宅では独居に近い状況で、調理やそうじなど身の回りのことに介助が必要
- 6 ADLは自立でもがん末期である
- 7 新たに医療処置が追加された（膀胱バルーンカテーテル留置、経管栄養、吸引など）

※40歳～64歳(第2号被保険者)の場合は、下記の疾病（確定診断）が介護保険申請の条件となります。

- |                                    |                              |
|------------------------------------|------------------------------|
| ① がん末期                             | ⑨ 脊柱管狭窄症                     |
| ② 関節リウマチ                           | ⑩ 早老症                        |
| ③ 筋萎縮性側索硬化症                        | ⑪ 多系統萎縮症                     |
| ④ 後縦靭帯骨化症                          | ⑫ 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症   |
| ⑤ 骨折を伴う骨粗しょう症                      | ⑬ 脳血管疾患                      |
| ⑥ 初老期における認知症                       | ⑭ 閉塞性動脈硬化症                   |
| ⑦ 進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病 | ⑮ 慢性閉塞性肺疾患                   |
| ⑧ 脊髄小脳変性症                          | ⑯ 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症 |

